

# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係るホストタウン登録の概要

## ホストタウンの目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、多くの選手や観客が日本へ来訪することを契機に、全国の地方公共団体と大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進すること。

## 登録に必要な取組

- 大会等に参加するために来日する選手等と住民等の交流
- 大会参加国・地域の関係者と住民等の交流
- 日本人オリンピック・パラリンピアンと住民等の交流
- 上記3項目に伴い行われる取組であって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの。

## 登録の状況

(平成29年12月11日現在)

- 全国の状況 : 登録件数211件、282団体
- 東京都の状況 : 登録件数12件、12団体

自治体名	国名	自治体名	国名
文京区	ドイツ	青梅市	ドイツ
目黒区	ケニア	府中市	オーストリア
大田区	ブラジル	調布市	サウジアラビア
世田谷区	米国	町田市	南アフリカ
江戸川区	オランダ	東村山市	中国
武蔵野市	ルーマニア	武蔵村山市	モンゴル国

- モンゴル国のホストタウン : 登録件数10件、15団体

自治体名	
青森県今別町	静岡県島田市
茨城県桜川市	静岡県焼津市
<b>東京都武蔵村山市</b>	静岡県伊豆の国市
新潟県・新潟市・長岡市・ 燕市・五泉市・弥彦村	大阪府泉佐野市
	兵庫県豊岡市
	宮崎県都城市

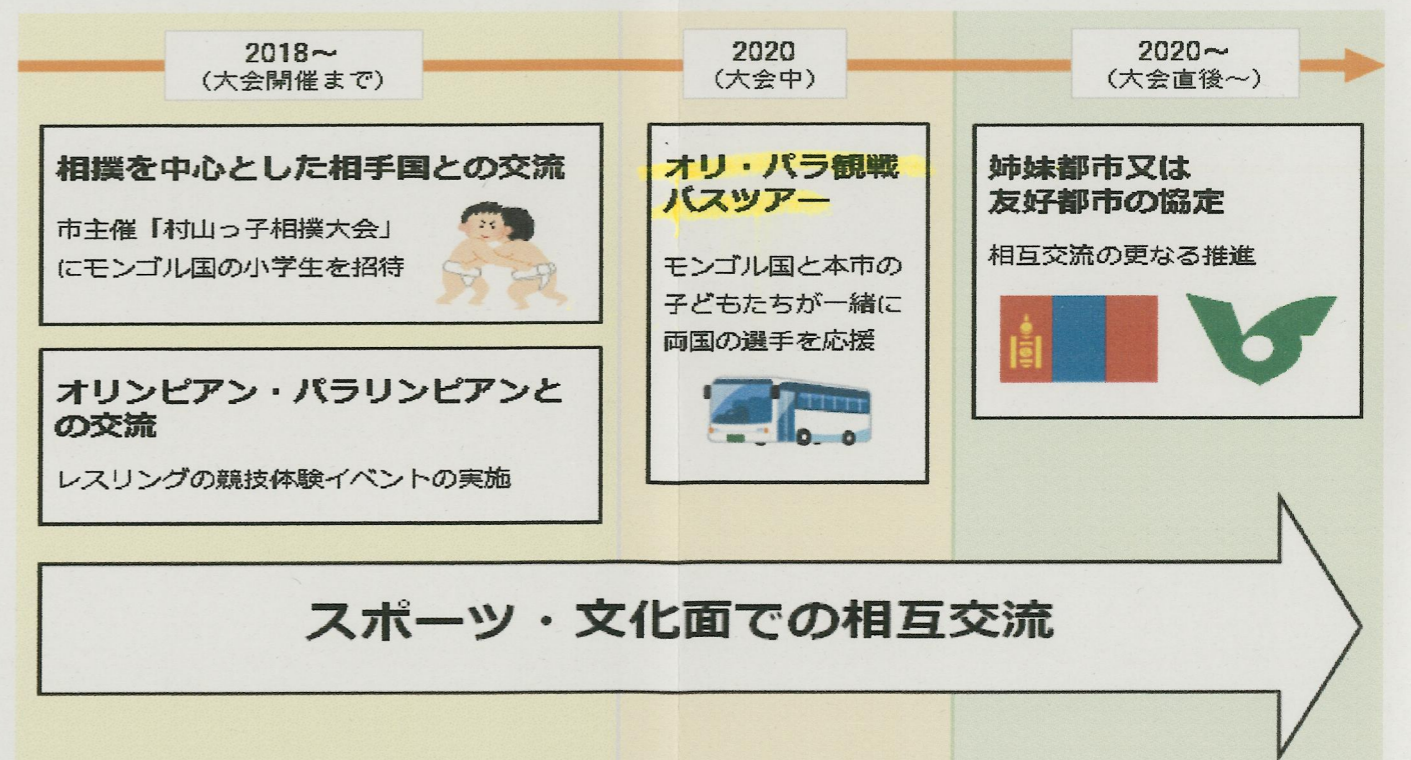
## モンゴル国の概要

面積	約156万km <sup>2</sup> (日本の約4倍)
人口	約312万人 (日本の約1/40)
首都	ウランバートル市 (人口約140万人)
気候	年間を通じて乾燥している。夏は平均気温19℃前後である。10月下旬には気温が零下になり、12月～2月には-20℃以下になる日が多い。

## 登録までの経過

年月日	内容
平成29年 7月21日	駐日モンゴル国大使館を訪問
平成29年 8月31日	駐日モンゴル国大使館を訪問
平成29年11月 5日 ～8日 (モンゴル国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 外務大臣表敬訪問</li> <li>➤ 教育・文化・科学・スポーツ大臣表敬訪問</li> <li>➤ 大統領特使表敬訪問</li> <li>➤ <del>ウランバートル市</del> <sup>ウランバートル市</sup>ハシホ区長表敬訪問</li> <li>➤ 旭鷲部屋訪問</li> </ul>
平成29年12月11日	本市がモンゴル国のホストタウンに登録される。

## これからの計画



# ホストタウン一覧（モンゴル）

2018年2月現在

都道府県	登録団体名	相手国・地域		備考
青森県	今別町	モンゴル	2016年3月26日開通の北海道新幹線沿線で、本州最北端の駅ができる。 町長自身も元国体のフェンシング選手であるなどフェンシングが盛んな土地柄。 2015年10月にモンゴルのフェンシングチームの事前合宿の受入れが決定。小中学校生とモンゴル選手との交流機会を設け、町の伝統芸能である「荒馬」を披露するなど両国の文化交流の促進を図る。	・2016.1.26登録
茨城県	桜川市	ブルガリア、モンゴル	市内在住の彫刻家、浅賀正治氏がブルガリアのコンクールで受賞したことより、同国との交流が始まった。2016年には、大使からの提案を受け、同国シリストラ市と友好交流都市協定を締結。 国内でも少ないI F 基準の射撃競技場を有しており、これらを活用しながら事前合宿を誘致。 市在住の多田尚克氏がモンゴルの射撃代表チームのコーチを務めていることから、射撃の事前合宿誘致を進め、平成29年7月に覚書を締結。	・2016.12.9登録 ・2017.12.11モンゴル追加
東京都	武蔵村山市	モンゴル	市では小学校の授業への導入や大会の開催など相撲の取組に力を入れていることから、モンゴル相撲が盛んなモンゴルを相手国とし、競技終了後にモンゴルのオリンピックを招いた交流会の実施や、両国の子どもたちを中心とした文化・スポーツ交流を図る。	・2017.12.11登録
新潟県	新潟県・新潟市・長岡市・燕市・五泉市・弥彦村	モンゴル	モンゴルのアーチェリーチームの事前合宿を誘致。横綱日馬富士関などモンゴル力士や地元大学の留学生などと交流。 市民を対象に同国の伝統や文化を学ぶ交流事業を展開。市内の小中学校生を同国に派遣。	・2016.1.26登録
静岡県	島田市	モンゴル、シンガポール	モンゴル国ボクシング競技の事前合宿を受け入れ。 受け入れにより、国際交流の促進、スポーツの振興、観光誘客による交流人口の増加、オリンピック・パラリンピックに対する意識の高揚等により、市の活性化につなげる。 シンガポール卓球協会との間で事前合宿について合意。協定締結に向けて調整を行っていく。	・2017.7.7登録 ・2017.12.11シンガポール追加
	焼津市	モンゴル	2015年8月にモンゴルレスリングチームの事前合宿受入を決定。モンゴルの代表的な祭典「ナーダム」を擬した「焼津ナーダム」を開催し、モンゴルへの愛着を高め、まちぐるみで同国を応援する体制を構築。	・2016.1.26登録
	伊豆の国市	モンゴル	ソングノハイラン区との交流を契機に、2015年8月、モンゴルの柔道選手団及びパラリンピック選手団の受入れが決定。選手団と市の柔道少年団等との交流を大会前から継続的に行い、機運を高める。	・2016.1.26登録
大阪府	泉佐野市	ウガンダ、モンゴル	市内のタオル業者が現地産のオーガニックコットンを製品化したことでグル市との交流を開始。2020年大会に代表選手と交流することについて大統領の承認を得た。これをきっかけに市民レベルでの交流継続を目指す。 職員の受入れやスポーツ・文化の交流を行っているモンゴル・トブツ県との友好関係を活かし、マラソンを中心としたモンゴルの陸上の事前合宿誘致を進めている。	・2016.12.9登録 ・2017年7.7モンゴル追加
兵庫県	豊岡市	モンゴル	本市但東町が絹織物産地であったことから、1980年代より「但東シルクロード計画」を推進。モンゴルの特定遊牧地域との草の根交流から幅広い交流を展開してきており、市内には国内唯一の「日本・モンゴル民族博物館」を開館。市内の元ボクシングチャンピオンのアドバイスも得ながら、事前合宿誘致を進める。	・2016.6.14登録
宮城県	都城市	モンゴル	1999年、ウランバートル市と友好交流都市を提携し、青少年交流を進めてきた。同国からの国際交流員（CIR）を窓口し、レスリングを通じた選手、指導者、子どもたちの交流を進める。	・2016.12.9登録